

# 平成 26 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成 25 年 8 月 13 日

上場会社名 オイシックス株式会社

上場取引所 東

コード番号 3182

URL <http://www.oisix.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 宏平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部本部長 (氏名) 長谷川 哲也 (TEL) 03(5447)2688

四半期報告書提出予定日 平成 25 年 8 月 14 日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成 26 年 3 月期第 1 四半期の業績 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日)

### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26 年 3 月期第 1 四半期	3,748	—	197	—	202	—	121	—
25 年 3 月期第 1 四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26 年 3 月期第 1 四半期	22.19	18.95
25 年 3 月期第 1 四半期	—	—

(注) 当社は平成 25 年 3 月期第 1 四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成 25 年 3 月期第 1 四半期の記載及び同期間の比較は行っていません。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26 年 3 月期第 1 四半期	5,065	2,963	58.5
25 年 3 月期	4,712	2,838	60.2

(参考) 自己資本 26 年 3 月期第 1 四半期 2,963 百万円 25 年 3 月期 2,838 百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25 年 3 月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26 年 3 月期	—	—	—	—	—
26 年 3 月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成 26 年 3 月期の業績予想 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期(累計)	7,362	7.3	308	0.0	316	1.0	196	2.0	35.91
通期	16,351	12.2	827	12.8	833	13.7	500	47.5	91.44

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	5,481,400株	25年3月期	5,468,200株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	—株	25年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	5,470,230株	25年3月期1Q	4,463,200株

(注) 当社は平成24年11月12日付で普通株式1株を4株に株式分割をいたしました。このため、前事業年度の期首に株式分割が行われたと仮定して平成25年3月期第1四半期の期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、日銀による積極的な金融緩和等を背景とした円安・株高の定着により、景気は持ち直す傾向にあるものの、新興国経済の成長率鈍化による影響が懸念されるなど、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の主たる事業領域である安全性に配慮した食品業界を巡る動きとしては、原子力発電所事故に伴う食品の放射能汚染問題を受けた食の安心・安全に関する消費者の意識は、一時期よりは鎮静化傾向にあるものの、引き続き高い状況にあります。

E C業界を巡る動きとしては、大手E C事業者や大手流通企業が相次いでいわゆるネット・スーパー事業強化の方針を打ち出すなど、食品E Cの将来性によりいっそう注目が集まっております。また、スマートフォンやタブレット型端末の本格普及により、E Cを取り巻く環境も刻々と変化しております。

このような環境を背景に、当社では成長市場である食品E C市場におけるOisixブランドの確立や、高付加価値食品分野における独自性・競争優位性の確立に取り組んでまいりました。

具体的には、SEO (Search Engine Optimization 検索エンジン最適化) やSEM (Search Engine Marketing 検索エンジンマーケティング) の強化や、実店舗やイベントでの露出を図ることにより、主力サービスである定期宅配サービス「おいしくすくらぶ」への集客に努めました。

また、高付加価値ブランド食品の取り扱いの拡大や、単品定期購買サービスの強化等により、購入単価の向上に取り組むほか、スマートフォン対応の強化など、お客様により便利にお買い物していただくためのサービス改善にも取り組んでまいりました。

併せて、当社がこれまで培ってきた食品E Cビジネスにおけるアセットやノウハウをプラットフォーム的に他社に提供することで収益を確保するプラットフォーム事業の育成を図り、その一環として、平成25年5月に株式会社三越伊勢丹ホールディングスと、同社グループが手掛ける会員制食品宅配サービス「三越伊勢丹エムアイデリ」と当社サービスとの連携（商品の相互供給や当社の宅配システムや物流センターの活用）を目的とした、業務提携に関する基本合意書を締結いたしました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は3,748,836千円となりました。利益面では、営業利益は197,728千円、経常利益は202,970千円、四半期純利益は121,391千円となりました。

販売経路（事業区分）別の売上高については、次のとおりであります。

#### [E C事業]

インターネットを通じて主に食品・食材の直販を行うE C事業においては、定期宅配サービス「おいしくすくらぶ」会員数が、前事業年度末（平成25年3月末）の73,865人から、当第1四半期会計期間末（平成25年6月末）には76,937人へ増加いたしました。

また、平成25年1月から開始した、高付加価値ブランド食品を当社サイト「oisix.com」にて取り扱うサービスを、平成25年5月より新サービス「Oiチカgourmet」として、全10ブランドに拡大した上で本格的に開始するなど、お客様の購入単価向上を図りました。

これらの結果、当第1四半期累計期間におけるE C事業の売上高は3,442,813千円となりました。

#### [その他事業]

その他事業においては、チラシを利用した乳販店等を通じた通販事業や、恵比寿店・二子玉川店の2店舗にて展開している実店舗での売上高が堅調に推移いたしました。

また、「Shop in Shop」として、平成24年9月より開始した東急ストアの店内におけるOisix専用コーナーの設置も、当第1四半期会計期間末（平成25年6月末）現在5店舗まで拡大いたしました。

これらの結果、当第1四半期累計期間におけるその他事業の売上高は306,023千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して352,744千円増加し、5,065,122千円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ377,994千円増加し、4,065,774千円となりました。これは主に現金及び預金の増加238,113千円、商品及び製品の増加27,118千円、未収入金の増加72,191千円によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ25,249千円減少し、999,348千円となりました。これは、有形固定資産の減少6,509千円、無形固定資産の減少5,763千円、投資その他の資産の減少12,976千円によるものであります。

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比較して227,253千円増加し、2,101,395千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ218,591千円増加し、2,006,289千円となりました。これは主に買掛金の増加133,721千円、未払金の増加48,704千円によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ8,661千円増加し、95,106千円となりました。これは主にその他の増加7,578千円によるものであります。

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度と比較して125,491千円増加し、2,963,727千円となりました。これは主に四半期当期純利益121,391千円を計上したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月14日付「平成25年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### 3. 四半期財務諸表

#### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年 3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年 6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,959,136	2,197,250
売掛金	1,323,495	1,335,016
商品及び製品	188,807	215,926
原材料及び貯蔵品	3,888	3,400
未収入金	161,658	233,850
その他	100,428	132,007
貸倒引当金	△49,636	△51,677
流動資産合計	3,687,779	4,065,774
固定資産		
有形固定資産	544,506	537,997
無形固定資産	318,446	312,683
投資その他の資産	161,644	148,668
固定資産合計	1,024,598	999,348
資産合計	4,712,378	5,065,122
負債の部		
流動負債		
買掛金	885,029	1,018,751
未払金	517,913	566,617
未払法人税等	87,897	89,592
ポイント引当金	110,884	112,103
その他	185,973	219,224
流動負債合計	1,787,697	2,006,289
固定負債		
資産除去債務	46,190	47,274
その他	40,253	47,832
固定負債合計	86,444	95,106
負債合計	1,874,142	2,101,395
純資産の部		
株主資本		
資本金	808,260	810,313
資本剰余金	563,160	565,206
利益剰余金	1,466,815	1,588,207
株主資本合計	2,838,235	2,963,727
純資産合計	2,838,235	2,963,727
負債純資産合計	4,712,378	5,065,122

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	3,748,836
売上原価	1,940,999
売上総利益	1,807,837
販売費及び一般管理費	1,610,108
営業利益	197,728
営業外収益	
受取利息	9
受取補償金	2,191
その他	3,056
営業外収益合計	5,257
営業外費用	
支払利息	14
その他	0
営業外費用合計	15
経常利益	202,970
税引前四半期純利益	202,970
法人税、住民税及び事業税	85,756
法人税等調整額	△4,176
法人税等合計	81,579
四半期純利益	121,391

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。